

八重山語宮良言葉による「桃太郎」の書き起こしと表記法

Christopher Davis (琉球大学)

1. はじめに

本報告書では、八重山語・宮良言葉の継承に向けて、昔話・おとぎ話の書き起こし・表記等についての推進と例を挙げる。ここで取り上げる話は、宮良婦人会が作成した「^{たから} ^{しいまむ} ^に宝ぬ島言葉」に載っている「桃太郎」の一部である。227ページにも及ぶこの「^{たから} ^{しいまむ} ^に宝ぬ島言葉」は、コミュニティによる非常に貴重な資料であり、語彙・表現・文化等の情報がたくさん載っている。その一部として、宮良言葉による「桃太郎」も載っている。CDも付いているので、自然な発音を確かめることもできるので、言葉の継承・勉強には非常に貴重な作品である。

ここでは、その「桃太郎」や他の宮良言葉によるおとぎ話をより効率的に使えるために、統一な表記法を紹介し、話の一部をその表記法による書き起こしを試みる。

2. 宮良言葉の表記法

以下の表では、宮良言葉の表記がまとめてある。カナ表記・音素表記・音声表記が順番に書いてある（音素表記は//の間、音声表記は[]の間）。音素表記は、宮良言葉の音韻的研究の結果に基づいたものである。カナ表記に関しては、古典民謡で使われている工工四などに使われる表記法を参考にして決めたものである。

表：八重山語宮良方言の音声と表記

	a	i	u	e	o	i
	ア /a/ [a]	イ /i/ [i]	ウ /u/ [u]	エ /e/ [e]	オ /o/ [o]	
k	カ /ka/ [ka]	キ /ki/ [ki]	ク /ku/ [ku]	ケ /ke/ [ke]	コ /ko/ [ko]	クイ /ki/ [ki]/[ks]
g	ガ /ga/ [ga]	ギ /gi/ [gi]	グ /gu/ [gu]	ゲ /ge/ [ge]	ゴ /go/ [go]	グイ /gi/ [gi]/[gz]

s	サ /sa/ [sa]	シ /si/ [ʃi]	ス /su/ [su]	セ /se/ [se]	ソ /so/ [so]	スイ /si/ [si]
sy	シヤ /sya/ [ʃa]		シユ /syu/ [ʃu]	シエ /sye/ [ʃe]	シヨ /syo/ [ʃo]	
z	ザ /za/ [za]	ジ /zi/ [dʒi]	ズ /zu/ [zu]/[dzu]	ゼ /ze/ [ze]/[dze]	ゾ /zo/ [zo]/[dzo]	ズイ /zi/ [zi]/[dzi]
zy	ジヤ /zya/ [dʒa]		ジユ /zyu/ [dʒu]	ジエ /zye/ [dze]	ジヨ /zyo/ [dʒo]	
t	タ /ta/ [ta]	テイ /ti/ [ti]	トゥ /tu/ [tu]	テ /te/ [te]	ト /to/ [to]	
d	ダ /da/ [da]	デイ /di/ [di]	ドウ /du/ [du]	デ /de/ [de]	ド /do/ [do]	
c	ツア /ca/ [tsa]	チ /ci/ [tʃi]	ツ /cu/ [tsu]	ツエ /ce/ [tse]	ツオ /co/ [tso]	ツイ /ci/ [tsi]
cy	チャ /cya/ [tʃa]		チュ /cyu/ [tʃu]	チェ /cye/ [tʃe]	チヨ /cyo/ [tʃo]	
n	ナ /na/ [na]	ニ /ni/ [ni]	ヌ /nu/ [nu]	ネ /ne/ [ne]	ノ /no/ [no]	
h	ハ /ha/ [ha]	ヒ /hi/ [hi]	フ /hu/ [ɸu]	ヘ /he/ [he]	ホ /ho/ [ho]	
f	ファ /fa/ [ɸa]	フィ /fi/ [ɸi]	フ /fu/ [ɸu]	フェ /fe/ [ɸe]	フォ /fo/ [ɸo]	フィ /fi/ [fi]
p	パ /pa/ [pa]	ピ /pi/ [pi]	プ /pu/ [pu]	ペ /pe/ [pe]	ポ /po/ [po]	プイ /pi/ [pi]/[ps]
b	バ /ba/ [ba]	ビ /bi/ [bi]	ブ /bu/ [bu]	ベ /be/ [be]	ボ /bo/ [bo]	ブイ /bi/ [bi]/[bz]
m	マ /ma/ [ma]	ミ /mi/ [mi]	ム /mu/ [mu]	メ /me/ [me]	モ /mo/ [mo]	

y	ヤ /ya/ [ju]		ユ /yu/ [ju]	イエ /ye/ [je]	ヨ /yo/ [jo]	
r	ラ /ra/ [ra]	リ /ri/ [ri]	ル /ru/ [ru]	レ /re/ [re]	ロ /ro/ [ro]	ルイ /ri/ [ri]
ry	リヤ /rya/ [rja]		リュ /ryu/ [riu]		リョ /ryo/ [jo]	
w	ワ /wa/ [wa]					
n	ン /n/					

3. 「桃太郎」の書き起こし

宮良婦人会の「桃太郎」の一部を、以上の表記法に基づいた書き起こしを紹介する。ここで紹介する書き起こしには、四行がある：

- 1行目：カナ表記
- 2行目：音素表記
- 3行目：グロス
- 4行目：日本語共通語訳

2行目と3行目の書き起こしは、主に学者向けのものであるため、コミュニティーのための資料を作る際には、1行目と4行目だけにした方がいいかもしれない。しかし、2行目の音素表記では、形態素の境目も表記されているため、文法の勉強に役立つかもしれない。3行目のグロスは、西洋言語学で幅広く使われている表記を用いているため、言語学者にはわかりやすいものの、一般の人にはあまり役立たない。これらのグロスを、よりわかりやすい書き方に直すことは、今後の研究の一つの課題である。

宮良婦人会による「桃太郎」 (一部)

ムカスイ	ムカスイ	アル	カタンガ
mukasi	mukasi	ar-u	kata=nga
昔	昔	ある-PRS	ところ=LOC
昔	昔	ある	ところに

アッチェートウ	アッパードウ	オータ	ツチヨ。
accyee=tu	appaa=n=du	oo-ta	ccyo.
おじいさん=ASC	おばあさん=NOM=FOC	いる.HON-PST	HS

おじいさんと おばあさんが いた という。

アル ピニツインガ アッチェーヤ
ar-u pi-nitsi=nga accyee=ya
ある.PRS 日-日=LOC おじいさん=TOP
ある 日に おじいさんは

ヤマゲ タムヌバ トウンナ オーレル ヨースイ。
yama=ge tamunu=ba tun-na oor-e-ru yoosi.
山=ALL 薪=OBJ.FOC 取る-PUR 行く.HON-RES-PRS HS
山に たきぎを とりに でかけた ようだ。

アッパーヤ マイヘル ウーキバ ムチ
appaa=ya mai-he-ru uuki=ba muc-i
おじいちゃん=TOP 大きい-ADJ-PRS たらい=OBJ.FOC 持つ-MED
おじいちゃんは 大きな たらいを 持って

カーラゲ クインカーバ アーライナ オータ ッチョ。
kaara=ge kinkaa=ba aarai-na oo-ta ccyo.
川=ALL 服=OBJ.FOC 洗う-PUR 行く.HON-PST HS
川へ 服を 洗いに 行った という。

アッパーヌ クインカーバ アーライルンケン
appaa=nu kinkaa=ba aara-i-ru=nken
おじいちゃん=NOM 服=OBJ.FOC 洗う-PROG-PRS=間
おじいちゃんが 服を 洗っている間に

カーラヌ オーラガラ
kaara=nu oora=gara
川=GEN 岸=ABL
川の 岸から

メーダ ミー ムーヌ マイヘル トームンヌ
meeda mi-i muu-nu mai-he-ru toomun=nu
まだ 見る-MED EXP-NEG 大きい-ADJ-PRS もも=NOM
まだ 見た ことのない 大きな ももが

ナーリ クィタ ッチョ。
naar-i ki-ta ccyo.
流れる-MED 来る-PST HS
流れて 来た らしい。

クレー ウバイタ デーズィ！
kure=e ubai-ta deezi.

これ=TOP 驚く-CMPL 大変
 これは 驚いた、 大変！

ティンヌ	ツィクィガナスィヌ	ウティ	キーソーターナー
tin=nu	ciki-nganasi=nu	uti	kii-soo=taanaa
天=GEN	月-さま=NOM	落ちる-INF	来る-NR=よう
天の	月様が	落ちて	きたような

マイヘル	トームン	ユン。
mai-he-ru	toomun	yu-n.
大きい-ADJ-PRS	もも	COP-IND
大きな	もも	だ。

アッパーヤ	ンジャーットウ	ウバイオータ	ツチヨ。
appaa=ya	nzyaattu	ubai-oo-ta	ccyo.
おばあさん=TOP	とても	驚く-HON-PST	HS
おばあさんは	とっても	驚いた	らしい。

マイヘル	トームー！	クンゲ	クー！
mai-he-ru	toomu!	kun=ge	kuu!
大きい-ADJ-PRS	もも.VOC	ここ=ALL	来る.IMP
大きな	ももよ！	こっちに	来い！

アッパーヤ	マイヘル	クイサーリ	ヤラボーリ
appaa=ya	mai-he-ru	kui=saari	yarab-oor-i
おばあさん=TOP	大きい-ADJ-PRS	声=INST	呼ぶ-HON-INF
おばあさんは	大きな	声で	呼んで、

トームンヤ	ボンカボンカディ	アッパーヌ	ネーゲ
toomun=ya	bonka-bonka=di	appaa=nu	nec=ge
もも=TOP	どぶらこどんぶらこ=QUOT	おばあさん=GEN	方=ALL
ももは	ぼんかぼんかと	おばあさんの	方に

ナーリ	クィタ	ツチヨ。
naari	ki-ta	ccyo.
流れる.INF	来る-PST	HS
流れて	来た	らしい。

ヤヤヤヤー ミジラシ トームン ユン ナー。

yayayayaa	mizirasi	toomun	yu-n	naa.
ややややー	不思議	もも	COP-IND	SFP
ややややー	不思議な	もも	だ	な。

アッパーヤ	ヤットウバイ	トームンバ	カーラヌ	アザゲ
appaa=ya	yattubai	toomun=ba	kaara=nu	aza=ge
おばあさん=TOP	やっところさ	もも=OBJ.FOC	川=GEN	側=ALL
おばあさんは	やっところさ	ももを	川の	岸に

ムッタダイ	シコータ	ツチヨ。
muttadai	sik-oo-ta	ccyo.
持ち上げる.INF	置く-HON-PST	HS
持ち上げて	置かれた	らしい。

アッパーヤ	イッフアル	トームンバ	ダギリ
appaa=ya	if-fa-ru	toomun=ba	dag-i-ri
おばあさん=TOP	重い-ADJ-PRS	もも=OBJ.FOC	抱く-PROG-INF
おばあさんは	重い	ももを	抱いて、

ヤーゲ	オータ	ツチヨ。
yaa=ge	oo-ta	ccyo.
家=ALL	行く.HON-PST	HS
家に	行かれた	らしい。

ティダヌ	イール	ズィブン
tida=nu	iir-u	zibun
太陽=NOM	入る-PRS	ころ
太陽が	入る	ころ

アッチェンドウ	ヤマガラ	カイリ	オーリ。
accyee=n=du	yama=gara	kair-i	oor-i.
おじいさん=NOM=FOC	山=ABL	帰る-INF	来る.HON-PST2
お婆さんが	山か	帰って	来た。

ウツホー	ヌックレヘー!
usso-hoo,	nukkure-hee.
恐ろしい-ADJ	恐ろしい-ADJ
へえ、	驚いた!

オービナス	マイヘル	トームンヤ
oobina=nu	mai-he-ru	toomun=ya
こんなに=GEN	大きい-ADJ-PRS	もも=TOP
こんなに	大きな	ももは

ミー	ムヌ	ナー。
mi-i	mu-nu	naa.
見る-INF	EXP-NEG	SFP
見た	ことがない	な。

ンマハン	キシャーソー	ナー。
mma-ha-n	kisyaa-soo	naa.
美味しい-ADJ-IND	EVID-NR	SFP
美味し	そうだ	ね。

アッパヤー	ポーザカタナサーリ	トームンバ	キショーリ	ツチヨ。
appaa=ya	pooza-katana=saari	toomun=ba	kisy-oor-i	ccyo.
おばあさん=TOP	包丁-刀=INST	もも=OBJ.FOC	切る-HON-PST2	HS
おばあさんは	包丁で	ももを	切った	らしい。

ヤヤヤヤー	ウレー	ノー?	フンギヤー	フンギヤー!
yayayaya,	ure=e,	noo.	fungyaa	fungyaa!
ヤヤヤヤ	これ=TOP	何	おぎやあ	おぎやあ。
あらら、	これは	何だ?	おぎやあ、	おぎやあ。

ガンジョホール	クイサーリ
ganzyo-hoo-ru	kui=saari
頑丈-ADJ-PRS	声=INST
元気な	声で

ナカガラ	ビギドゥンファース	ンディ	キ	つチヨ。
naka=gara	bigidun-faa-nama=nu	ndi	ki	ccyo.
なか=ABL	男-子-DIM=NOM	出る-INF	来る.PST2	HS
中から	男の子が	出て	きた	らしい。